

2015 家族でかくにん!

わが家のぼうさい コンテスト

入賞作品集



もしものときに備え、家族で話し合おう!

主催／ふくいの水防災を考える会 福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会
(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)

主催者あいさつ

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所長 森久保 司

今年は、関東・東北豪雨という大きな災害も発生し、皆さんの防災に対する関心が、より高まったのではないのでしょうか。近年ではこのような災害のニュースに触れることが多くなったように感じます。

災害を体験した直後は防災意識が高まり、ほとんどの人が災害に備えるようになりますが、時間がたち、何年もの年月が過ぎると少しずつ記憶が薄れ、防災に対する意識も薄れていくものです。ましてや災害体験のない人はなおさらでしょう。

では、普段から高い防災意識を持ち続けるにはどうすればよいでしょう。人間は忘れる動物ですが、何度も繰り返すことで忘れなくなることを知っています。ですが、普段必要がなければ繰り返して考えることはあまりありません。

もし、何かのきっかけで防災に関する情報を集める必要に迫られたとしたらどうでしょう。この防災コンテストはまさに、こうした防災意識を高めるきっかけになるよう企画されました。

皆さんは、市町から配布されているハザードマップを見つめ、漠然と考えていた避難経路を具体的に調べ、そして家族や地域の人から過去の災害や災害時の教訓を見聞きすることで貴重な経験をされたことと思います。

今回の防災コンテストを通じて培われた防災意識が、一時的なものに終わるのではなく、今後皆さんのご家庭の中で繰り返して見直されながら継承されていくことを願っています。

今回の防災コンテストに、さまざまなアイデアや工夫が凝らされた作品を応募していただいた皆さま、そして防災コンテストの開催にご協力いただいた審査委員や関係者の皆さまに心から感謝いたします。

平成27年12月

もくじ

3 入賞者一覧

4 審査委員名列

5 審査講評

審査委員長 福井大学大学院教授 福原 輝幸氏

7 最優秀賞 作品紹介

福井市社北小学校 5年 須方 海咲さん

9 優秀賞 作品紹介

坂井市東十郷小学校 6年 牧野 早夕花さん
坂井市春江小学校 5年 長岡 野乃子さん
坂井市春江小学校 5年 坂下 心音さん

15 福井新聞社長賞 作品紹介

福井市東郷小学校 6年 川端 凌太郎さん

17 NHK 福井放送局長賞 作品紹介

坂井市明章小学校 5年 川端 麻莉さん

19 入選作品の紹介

28 奨励賞作品の紹介

2015 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧

審査委員名列



須方 海咲さん
福井市社北小学校 5年



牧野 早夕花さん
坂井市東十郷小学校 6年

長岡 野乃子さん
坂井市春江小学校 5年

坂下 心音さん
坂井市春江小学校 5年



川端 凌太郎さん
福井市東郷小学校 6年



川端 麻莉さん
坂井市明章小学校 5年



富澤 未来さん
福井市明新小学校 4年

田中 綾人さん
鯖江市北中山小学校 5年

永田 将啓さん
福井市豊小学校 6年

小林 ふたばさん
鯖江市鯖江東小学校 5年

中出 彩花さん
福井市豊小学校 4年

渡邊 大輝さん
坂井市春江小学校 5年

池田 颯汰さん
坂井市明章小学校 5年

山本 奈那実さん
高浜町青郷小学校 3年

中橋 陽さん
福井市社北小学校 6年



芝田 晴香さん
小浜市国富小学校 5年

成田 玲奈さん
福井市国見小学校 5年

石橋 小春さん
福井市豊小学校 4年

嶋橋 颯太さん
福井市明新小学校 4年

中村 桃佳さん
坂井市春江小学校 5年

山口 結衣さん
小浜市国富小学校 5年

石本隼大さん
小浜市国富小学校 5年

島田 帆乃果さん
小浜市国富小学校 5年

長谷川 茅那さん
坂井市明章小学校 5年

堀内 健人さん
福井市豊小学校 5年

三ツ屋 里紗さん
福井市一乗小学校 5年

大坂 陽菜さん
福井市社北小学校 5年

児玉 亘さん
坂井市東十郷小学校 6年

伊藤 大雅さん
福井市豊小学校 6年

北川 侑樹さん
坂井市明章小学校 5年

谷川 ひめみさん
福井市豊小学校 5年

毛利 真凜さん
福井市国見小学校 6年

岸下 晴香さん
鯖江市片上小学校 4年

寺本 亜矢子さん
福井市羽生小学校 5年

森岡桜介さん
福井市国見小学校 6年

審査委員長 福原 輝幸氏 福井大学大学院教授

審査委員 森久保 司氏 国土交通省近畿地方整備局
福井河川国道事務所長

柿下 毅氏 福井地方気象台長

飛田 幸平氏 福井市危機管理対策監

山本 道隆氏 福井新聞社取締役営業局長

秋山 光智氏 NHK福井放送局長



2015 家族でかくにん！ わが家のぼうさいコンテスト

審査講評

〈審査委員長〉 福井大学大学院教授 福原 輝幸氏

最初に、2回目となる「わが家のぼうさいコンテスト」に応募されたご家族にお礼を申し上げます。作品（ポスター）のレベルは確実に上がっていることを審査委員全員が感じました。まず、色使いや図・写真の配置バランスが洗練されて、何を言いたいかが分かりやすくなっていました。もちろん、表現に加えて内容も向上していました。これについては後で具体的に述べたいと思います。

今回もわが家の防災にふさわしく、避難対策や防災に対する焦点は家族ごとに異なりユニークでした。家族の話し合いや調査（踏査や消防署へのヒアリングなど）がしっかりなされていたことがよく分かりました。例えば、自分の地域にはどうして水門があるのか。これを調べた作品がありました。水門は洪水を防ぐ防災設備の一つです。自分たちの地域を流れる川の水面の高さが、その下流で合流する川の水面より高い場合には水門を開けて上流側の川の水を下流の川に流す。反対に合流する下流の川の水面が高くなると水門を閉じて逆流を防ぐものです。こうした普段目に留まらないような設備に焦点を当てたことに驚きました。

次に感じたのは避難行動の注意意識が向上したことです。わが家から避難所までの到達時間（歩数）を調べたり、避難経路で考慮すべき点を細かく観察したりした作品がありました。例えば、近道はあるが、道が狭く水路が傍にあるために逆に危険である、交通量が多い道路が避難経路にある、避難所は1カ所だけでなく複数あるので避難所（避難経路）は状況に合わせて柔軟に決める、高架下の道路は浸水による危険性が高く、浸水の場合にはランプが点灯して運転手に注意を促す、など避難選択の多様性と避難行動の安全性に関する情報が1回目比べて高まりました。

もう一つ、1回目と大きく違う点は家の中の防災対策に注目した作品が増えたことです。家具の転倒対策、緊急時の備蓄品の定期的なチェック、避難時に持ち出す物を誰が運ぶかという役割分担、防災用チェックリストによるわが家の防災レベル診断など、昨年にはなかった視点や新規性がありました。

わが家の防災作品作りは単に家族の防災意識を高めるだけでなく、子どもにとっては地域の昔を知る機会となり、家族の絆を強めることにもつながることが感じられました。それぞれの家ごとに家族構成、年齢構成、居住地の地形などにさまざまな違いがあります。家の特徴を活かした防災ポスターが次回も見られることを審査委員一同楽しみにしています。

2015 家族でかくにん！

わが家のぼうさいコンテスト

入賞作品集



表彰式で福井河川国道事務所の森久保所長（右）から最優秀賞の賞状を手渡される須方海咲さん
＝10月12日、福井市の福井新聞社・風の森ホール



表彰式で感想を述べる受賞者



表彰式会場で行われた入賞作品展



福井市社北小学校 5年
須方 海咲さん



受賞者コメント

私は、災害を体験したことがありません。大地震やごう雨などの災害は、ニュースでしか見たことがなかったので、今回、私が生まれた平成16年に起きた福井ごう雨もふくめ、防災について取り組んでみました。

まず福井市防災センターで、地震や強風、火事の体験をしました。今から起こると分かっているのもすごく怖かったです。しかし、実際に体験した人は、急な出来事で本当に怖かったんだろうと実感しました。安全にすばやく避難するには、避難場所まで最短コースで行くのではなく、ハザードマップなどで経路を確認することが大切と教えていただき、社北公民館で資料を頂いてそれを参考に、自宅から周囲を注意深く観察しながら避難場所まで何分かかるか歩いてみました。今回、実際に体験したことや資料などで学んだことをみんなに伝えたいし、家族で決めた約束をしっかりと守り、家族や町内の人と協力して防災に取り組みたいです。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

避難行動のレベルが高く、避難場所への近道があるにもかかわらず狭くて危険であることから他の経路を選び、到着時間が調べられ、観察力がとても高いと感じました。家族で決めた約束の一つに、6月28日に起きた福井地震にちなんで、毎月28日に備蓄品を確認しており、過去の災害を教訓にして日ごろから防災意識を高めていることに感心しました。防災マップに示された福井豪雨での地域の浸水状況は避難に活かされそうですね。

(福井ごう雨について)

概要
 ・日時：平成16年7月18日
 ・実施場所：福井市防災センター
 ・参加者：5名
 ・体験内容：物200種、土砂災害体験、車中泊体験

家族で決めよう
 1. 第一避難場所は、三高公園。
 2. 被害が起きた時は、早加減で逃げ出す。
 3. 備蓄品を確認し、定期的には確認する。(特に28日は必ず確認する。)
 4. 大人の指示をきちんと聞いて、勝手に行動をしない。
 5. 町内の防災訓練に参加する。

防災センターに行き、実際に地震などの体験をしました
 地震はいつ起こるかわかりませんが、怖いけれど、実際に体験したことは、想像以上に怖かったです。地震が起きたら、家族で決めた約束を守り、安全に避難したいと思います。

感想
 防災センターで地震や強風の体験をしました。想像以上に怖かったです。家族で決めた約束を守り、安全に避難したいと思います。

取組んで感じたことや感想
 防災センターで地震や強風の体験をしました。想像以上に怖かったです。家族で決めた約束を守り、安全に避難したいと思います。

ハザードマップ
 防災センターでハザードマップを確認しました。自宅から避難場所までの経路を確認することが大切だとわかりました。

我が家の防災マップ
 第一避難場所(三高公園)への経路を確認しました。

早期の避難が大原則
 避難行動のレベルが高く、避難場所への近道があるにもかかわらず狭くて危険であることから他の経路を選び、到着時間が調べられ、観察力がとても高いと感じました。



坂井市東十郷小学校 6年
牧野 早夕花さん



受賞者コメント

私の家から1、2分ほど歩いた所に、田島川があるので、水害について書こうと思いました。夏の暑い日に、家族と歩いて田島川とひなん場所の写真をとりに行くのが大変でした。その日は田島川の水が少なくて、あふれることはないだろうと思いましたが、田島川の水害の歴史を家族から聞いて、真げんに取り組みました。

特に工夫したことは、ひなんするときの家族の役割を決めたことです。必要なものを確認できたり、非常食セットを実際に作ることで、大変勉強になりました。急いでにげるときに非常食セットはとても便利で安心だと思います。

昨年旅行で鬼怒川へ行ったので、9月の関東・東北豪雨のニュースを見て、とてもショックでした。最近、大雨がふりやすくなっていると、ニュースで聞いたので、この「ぼうさいマップ」で学んだことを家族で活かしていきたいと思います。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

避難の際に持ち出す物はよく目にはしますが、それを誰が持ち出すかを決めている点に新しさが見られます。また、避難準備の参考になる川の状況をスマートフォンで実際に分かるようにしている点も工夫がなされています。家の床が高くなっているのが浸水に備えてなされたことを知ったこと、素晴らしいです。これで防災の知識が1つ増えましたね。水門設置の経緯(水門がなぜ必要か)を調べたのにも感心しました。自分の住む地域・地形の特徴(低い土地)をよく調べた作品です。

防災マップ

田島川の水害に備えて

家族が集まる場所

- 坂井高校
- 連絡の方法
- 坂井高校の指示板

持ち出し品リスト

- 懐中電灯
- 乾電池
- ライト
- 水
- 非常食
- 毛布
- 現金
- 貴重品
- 薬
- 携帯電話
- 車
- 毛布

避難ルール

- 1人でもあふれれば、すぐに避難準備を始める
- 水害や明り命が危険な場合、危険な場所には近づかない

家族の避難場所

坂井高校 徒歩10分
TEL: 66-0268 FAX: 66-2669

田島川改修記念碑

田島川水門

田島川の水が少なくて、あふれることはないだろうと思いましたが、田島川の水害の歴史を家族から聞いて、真げんに取り組みました。

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

昔は川の水があふれて、コイが田んぼで泳いでいたよ。水が来たよ!!

大雨が降ると、泳げるぐらいの水が道路にたまたんよ!!

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

お父さんか小学生の時に田島川があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)

田島川の水があふれて、道路が川みたいいなくなりましたよ。あつたんよ。はしゃいでいる友達もいたけど、危ないからすぐに避難しよう。(56の出来事だよ)



坂井市春江小学校 5年
長岡 野乃子さん



受賞者コメント

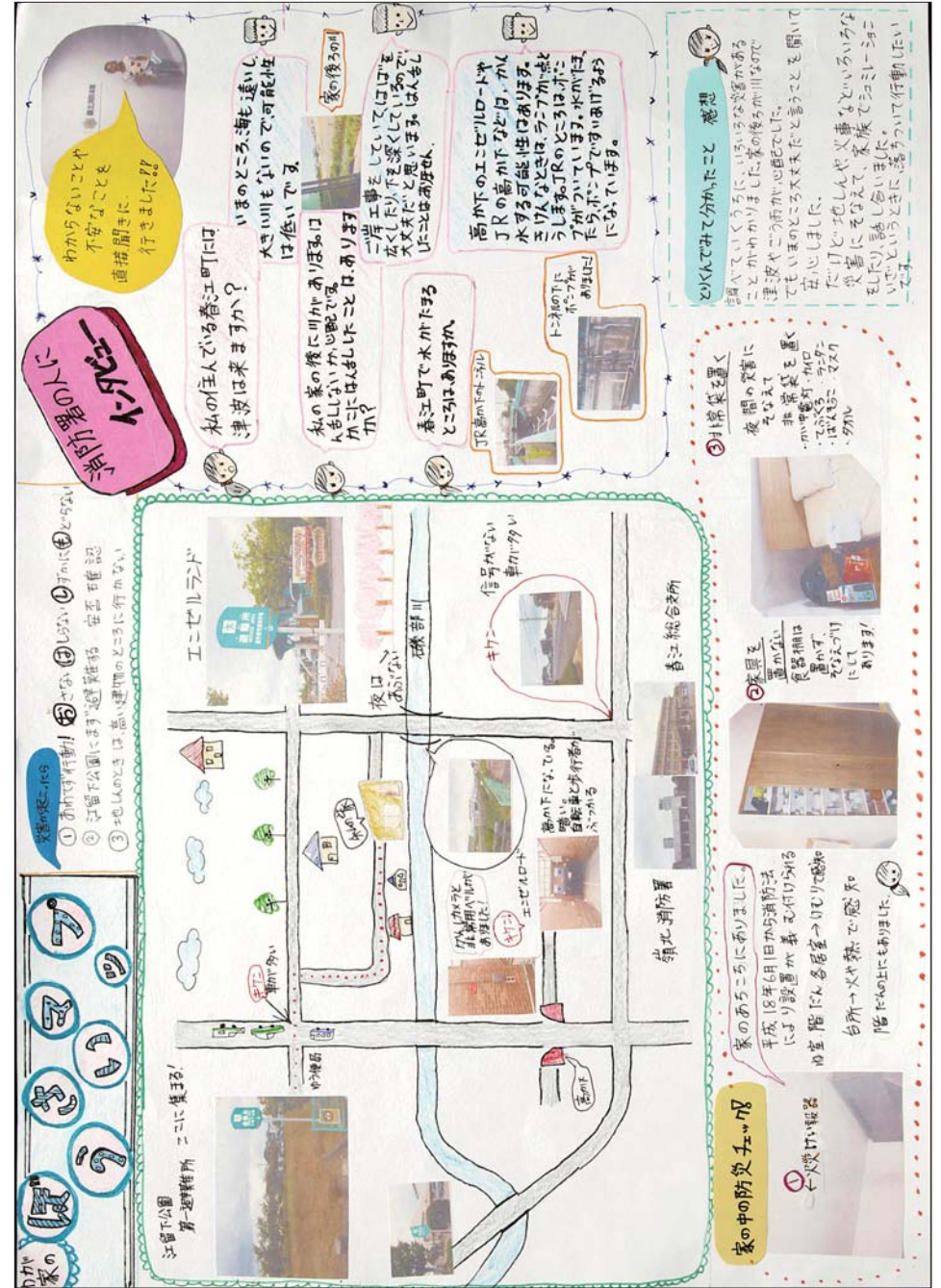
私は、1年半前に、今住んでいる所に引っ越してきました。新しい家の周りには、お店や大きい公園などがあり、とてもうれしかったです。でも、一つ心配だったのは、家の後ろに川が流れていることでした。福井豪雨の写真みたいに家が流れないか怖かったです。母から「不安だったら自分が動いて調べることが大事」と言われ、近くの消防署にインタビューに行きました。わからないことや、不安なことを聞いて少し安心しました。

また、母と一緒に、家の周りを歩きながら危険な所や避難場所の確認をしました。今回、防災マップを作成したことは、まだこの町を知らない私たちにとって、とても勉強になりました。

夏休みが終わって、茨城県などで洪水がありました。福井では、私が生まれた年に豪雨があり、恐ろしい災害が起きました。準備はしていますが、予想がつかない災害は起こります。なので、これからも、家族や地域で命を守る行動を考えていきたいと思います。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

夜間の避難に対して注意すべき地域の危険箇所が示されていることは、避難途中の被害防止に役立ちそうです。浸水被害の起きやすいJR高架下について調べられており、危険だとランプが点灯することが紹介されています。事故を未然に防ぐことに役立つ情報です。自分の知りたいことを中心に防災マップを作ることは素晴らしいですね。この作品はわが家の防災に重点が置かれており、備え付けの食器棚および火災報知機が家のどこにあるか、普段気にも留めない防災チェックや家づくりが実行されていて素晴らしいです。





坂井市春江小学校 5年
坂下 心音さん



受賞者コメント

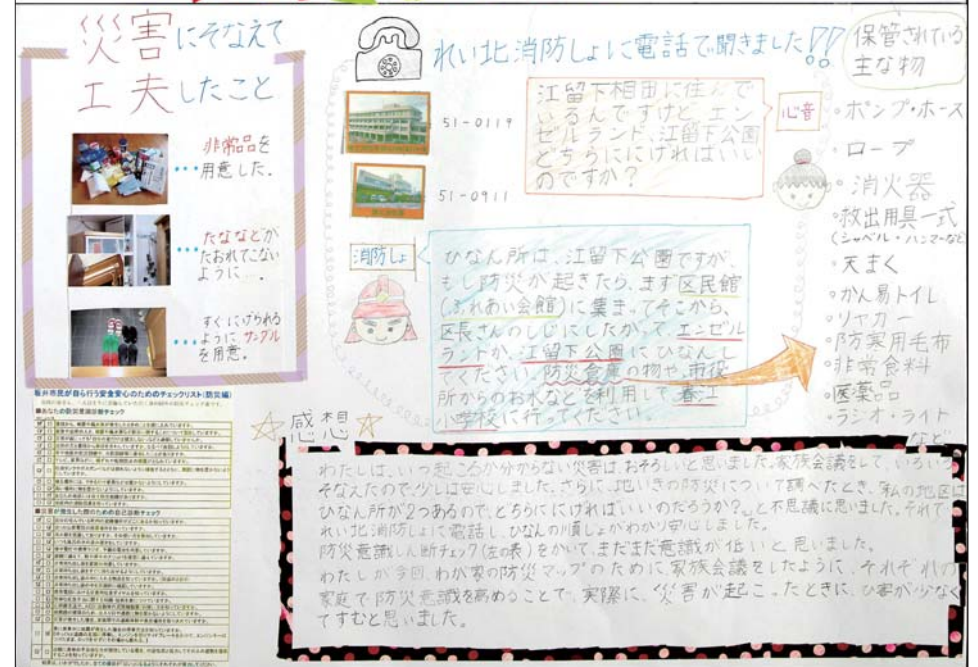
わたしは、防災マップを作るにあたって、家族会議をしました。災害がおこったときに、まずどうするか、どんな被害が起こるのかなど、1年生の弟をふくめ、家族みんなで、災害のことについて考えることができました。今まで用意していなかった非常用持ち出し品をそろえるきっかけにもなりました。

調べていくと、わたしの家の近くには、ひなん所がいくつもあることに気づきました。わたしの地区でのひなん訓練に参加したときのひなん所よりも近いひなん所があり、どちらにげれば良いのかという質問が出てきました。そこで、れい北消防本部に電話して、ひなん所を聞き、くわしいひなん順序を聞くことができました。

今までは、テレビなどの災害を見て、大変だなあ、かわいそうだなあと思っていただけでしたが、この防災マップ作りを通して、実際に自分たちに災害が起こったときのことを真げんに考えることができました。こうして意識を高め一人一人が備えることが、ひ害を少しでも少なくすることにつながると思います。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

坂井市の防災用チェックリストを通じてわが家の防災準備状況を理解している点に興味を注がれました。防災の原点に返った素晴らしい視点だと思います。チェックリストの効果かどうか分かりませんが、家の柵などが倒れない工夫が紹介されており、参考になります。きっと家族でなされた防災行動ですね。避難所での集合場所を決めていることで安否確認が速くとれそうです。また、避難の順路や防災倉庫に入っている物を消防署で確認した努力に感心しました。納められている物をすぐに利用できるような訓練ができるとこの防災マップが活かされると思います。





坂井市明章小学校 5年
川端 麻莉さん



受賞者コメント

私は、これまで防災マップというと、地しんに備えるものだと思っていました。今回、初めて防災マップ作りに取り組み、地しんよりも、水害の方がよく起きていることが分かりました。

ひなん場所の丸岡南中学校まで歩いたことは、とてもよい経験になりました。防災マップ作りをしていなかったら、災害が起こったときに初めて歩くことになり、とても不安だったと思います。

もし、災害が起きたときは、落ちついて行動することが大切だと思います。あわてて外に出ないで、家の2階に上がった方が安全な場合もあります。

ひなんするときは、お年よりの手を引いてあげたり、荷物を持ってあげたりして、私ができることをがんばってしようと思いました。

講評 (審査委員長) 福井大学大学院教授 福原輝幸氏

わが家から避難所へ実際に歩いて、避難に必要な時間を調べるとともに、浸水によって避難途中の道路と用水路の境界が分かりにくくなる危険性を見つけた点が素晴らしいです。さらに、途中の空き家に注目し、災害によっては倒壊の可能性を考えた発想も高い防災意識の表れと思います。防災マップ作りが家族で行われたことが分かりやすい作品でした。祖父からは昔、近くの川が氾濫したことを聞き、お父さんと一緒に鳴鹿大堰を見学したりして家族とともに防災の知識を深められたと思います。と同時に家族の絆を深められたようで、ほほ笑ましい作品にもなっています。





福井市豊小中学校 4年
中出 彩花さん

🔍 講評 (審査委員)

自宅周辺の避難所や防災機器に関して、写真と図を使ってきれいにまとめられている作品です。また、キャンプ用品という身近なものが災害のときに役に立つことに触れており、防災に対する意識の高さがうかがえます。



坂井市春江小学校 5年
渡邊 大輝さん

🔍 講評 (審査委員)

自宅周辺だけでなく、少し離れた場所の避難所についても地図上に記入されており、視野を広く持って住んでいるまちを見ていると感ずることができそうです。また、避難リュックの中身について、よく調べていると思います。





入選

坂井市明章小学校 5年
池田 颯汰さん

講評 (審査委員)

通学路に危険な箇所があることを調べたうえで、家族と話し合い、安全を優先して、少し遠回りになってもしっかり道を通っていくことに決めています。その経緯が具体的に記されていて、分かりやすいマップになっています。

わが家のぼうさいマップ

高地方面

明章小学校 5年 池田颯汰

北陸自動車道

ちく後清水 土地区

明章小学校 TEL: 077-3434

最終避難所

おほか

川はばはせまいたてを水の通り道に!

大雨が来たときは避難して!

←--- ひなんルート
--- 通学道路
田んぼ
住たくし

期水路

川

◎ さい害に備えて準備しておく物 ◎

- リュックサック・かい中電灯・水・ひじょう食・下着類
- けい帯ラジオ(予備電池)・救急用品・軍手・タオル

言周べて分かったこと

ぼくが学校に行く時の通学路は、道のはずれがせまいし、水があふれ出すきけんがある場所が何か所かあることが分かりました。それで、家の方を走って、ひなんする時は、少し遠回りになるけど通学路の方から、高地方面の大きな道を通って行くことに決めました。その方が安全だと思います。

おじいちゃんの体馬談

ぼくのおじいちゃん、旧美山町に住んでいました。2004年の福井23号雨の時の話も聞いてました。

- 車2台が家の下階の部分がかたまって流れたそうです。
- 7月だったので、のび草がないことが一番こまったそうです。

さい害の後、防かい無きを作って、年に一回防かいを調査をしているそうです。他にもおじいちゃんも必要だった中などいろいろ教えてくれたので、話聞いてよかったです。

● わが家のぼうさいメモ ●	
わが家のせせんを設	明章小学校
持ち出し品の置き場所	げん門近くの物置き
お父さんの会社の番号	53-2324
さい害伝言ダイヤル	171



入選

高浜町青郷小学校 3年
山本 奈那実さん

講評 (審査委員)

自分が住む地区の過去の災害の歴史を調べ、分かったことをもとに「避難のときは、通学路を通らない方が良くもしいない」として、「避難のときに使いたい道」をマップに示している点が、具体的に分かりやすかったです。

わがやのぼうさいマップ

家族で決めたこと

- あそびに行くときには、どこに行くか 家の人につたえること
- ひりりのときに大じしんなどにあたら、こうみんかんか 学校に行くこと

調べてわかったこと

- わたしの 住んでいる 横津海という場所は 山にかまれたところど川が流れている。前に台風があったとき 山がくずれたことがあるらしい。
- 海ばつを調べると 何メートルもあるので つなみの 心ばいは ないけれど 大雨がふると 山くずれや 川があふれたりする きけんがあることがわかった。
- きけんな 土地区なので ひなんしじが 出たら ひなんする ようにしたい。
- ひなんのときは、通学路は 通らない ほうが いいかも

山 山 山

前川

横津海の集会所 海ばつ 35.5m 外に町の スピーカーがある

わたしの家

ひなん時に使いたい道

せき屋川

JR小浜線

国道27号線

通学路

ひなん場所 海ばつ 19.1m

青郷公民館

青郷小学校

げらうど

かんそう

- ひりりの時でも こまらない ように ひなん場所をおぼえておきたいです。

ほう和 28年の 台風のときに がけが ずれ

平成10年の 台風のときに がけが ずれ



入選

福井市社北小学校 5年
中橋 陽さん



講評 (審査委員)

自宅周辺の水路や想定される浸水の深さ、がけ崩れの恐れがある区域などが記されており、大変分かりやすい地図になっています。備蓄品や避難の際の携帯品なども細かく分類され、家族で真剣に取り組んだ様子がうかがえます。



奨励賞

小浜市国富小学校 5年
芝田 晴香さん



奨励賞

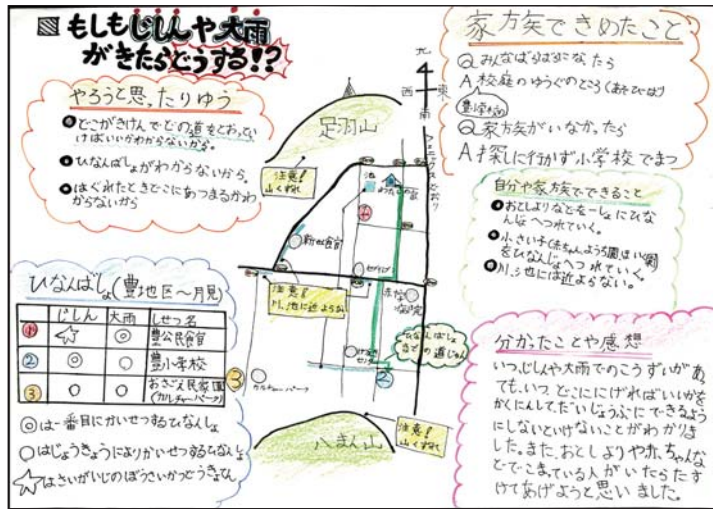
福井市国見小学校 5年
成田 玲奈さん





奨励賞

福井市豊小学校 4年
石橋 小春さん



奨励賞

福井市明新小学校 4年
嶋橋 颯太さん



奨励賞

坂井市春江小学校 5年
中村 桃佳さん



奨励賞

小浜市国富小学校 5年
山口 結衣さん





奨励賞

小浜市国富小学校 5年
石本 隼大さん



奨励賞

坂井市明章小学校 5年
長谷川 茅那さん



奨励賞

小浜市国富小学校 5年
島田 帆乃果さん



奨励賞

福井市豊小学校 5年
堀内 健人さん





福井市一乗小学校 5年
三ツ屋 里紗さん



坂井市東十郷小学校 6年
児玉 亘さん



福井市社北小学校 5年
大坂 陽菜さん



福井市豊小学校 6年
伊藤 大雅さん

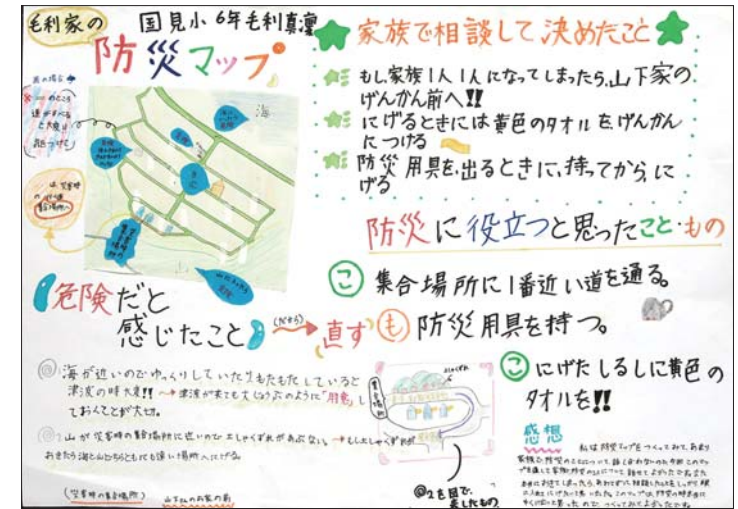




坂井市明章小学校 5年
北川 侑樹さん



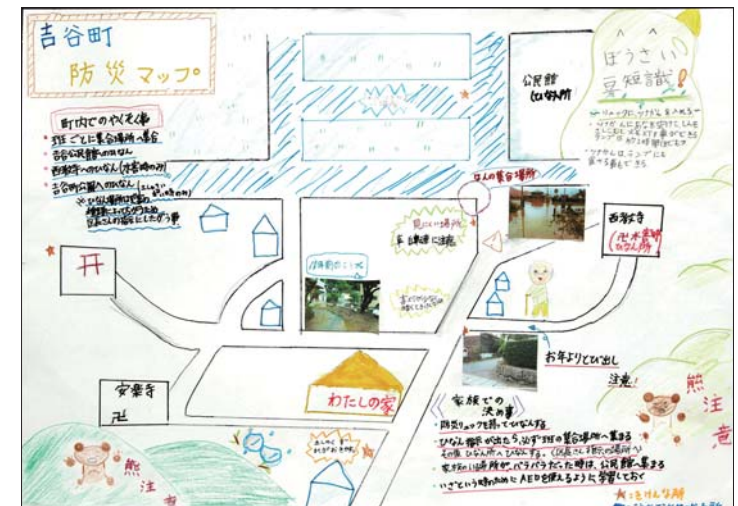
福井市国見小学校 6年
毛利 真凜さん



福井市豊小学校 5年
谷川 ひめみさん



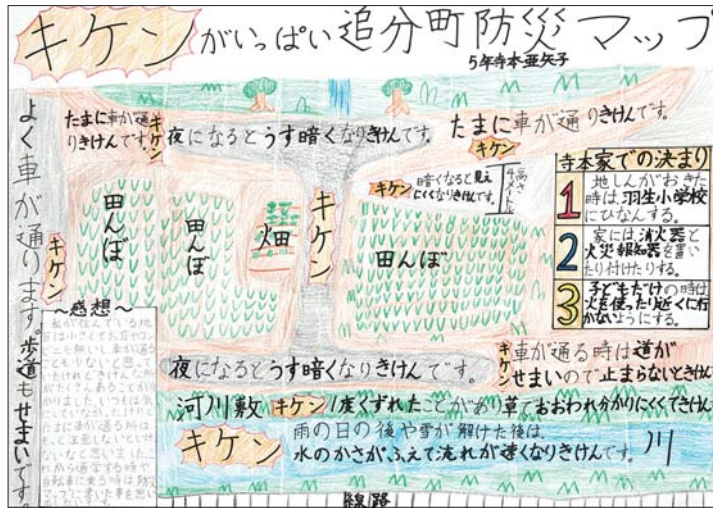
鯖江市片上小学校 4年
岸下 晴香さん





奨励賞

福井市羽生小学校 5年
寺本 亜矢子さん



防災出前授業やっています！

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は昨年、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作りました。

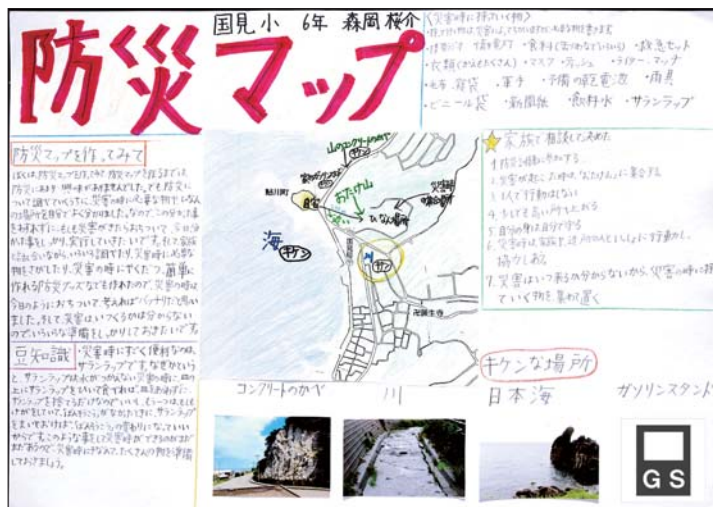
また、福井県では小学校へ出向いての防災出前授業を行っていますので、ご希望があれば福井県砂防防災課までご連絡ください。

福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494



奨励賞

福井市国見小学校 6年
森岡桜介さん



主催 / ふくいの水防災を考える会
(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)
福井新聞社 NHK福井放送局
後援 / 福井県教育委員会

平成27年12月発行